

保健体育科学習指導案

庄原市立庄原中学校

指導者 T1 : 高見 省吾

T2 : 伊藤 弘

- 1 日 時 平成18年10月13日(金) 第2校時
- 2 場 所 庄原中学校体育館
- 3 学年・学級 1年1・2組男子(1組18人 2組17人 計35人)
- 4 単 元 名 球技「バスケットボール」
- 5 単元について

(1) 単元観

バスケットボールは、集団対集団が1つのボールを媒介にして、個人的技能や集団的技能による攻防を繰り返し、互いに相手のゴールにシュートすることによって勝敗を競うところに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。また、走る・止まる・跳ぶ・投げるといった多彩な動きを必要とするので、敏捷性・巧緻性・瞬発力・持久力など総合的な身体能力が養われる。また、相手との身体接触も多く、公正な態度、安全に対する態度も必要とされるスポーツである。

バスケットボールはスピーディーな動きの中でシュートを決める喜びが味わえる運動である。また、技能が高まってくると、相手の動きを読んでプレーする駆け引きが楽しくなってくる。その反面シュートが入らない、ボールコントロールがうまくできないなど技能差が生じてくると、活動するプレイヤーが限られてくる。グループで行う集団スポーツであるため、練習段階からグループで協力することの大切さや、作戦を立てて攻防を工夫してゲームすることを楽しむことができる。

(2) 生徒観

本学級(2クラス)の生徒は運動に対しての意欲・関心が高く、積極的に授業に参加している。事前アンケートの結果では、「体育の授業が好きですか」という質問に対して「好き」と答えた生徒の割合は97%であり、「まあまあ好き」と答えた生徒を含めると体育の授業に対して100%の肯定率であった。35名の生徒の運動部活動への所属率が100%であることから運動に意欲的に取り組みたいと思っている生徒が多いと言える。また、「体育の授業で楽しいと感じるのはどんな時ですか」という質問に対して「前より運動が上手になったとき」と答えた生徒の割合が60%と1番高く、運動が上手になりたいという前向きな姿勢がうかがえる。バスケットボールに関しては「バスケットボールが好きですか」という質問に対して「好き」が69%「まあまあ好き」が31%と興味・関心が高い。「バスケットボールの授業で楽しみだと思えるのは何ですか」という質問に対して「ゲームが楽しみ」が82%、「チームプレーがしてみたい」が72%と高く、協力してゲームをしていくことに強い期待がある。

4月・5月に実施した新体力テストの結果は表の通りである。

| | 上体おこし | 長座体前屈 | 反復横とび | 持久走 | シャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ハンドボール投げ | 握力 |
|------|-------|--------|-------|------|--------|------|---------|----------|--------|
| 全国平均 | 23.3回 | 38.5cm | 47.8点 | 7:02 | 67.7回 | 8.4秒 | 182.3cm | 19.3m | 25.0kg |
| 本学級 | 27.6回 | 39.4cm | 52.3点 | 6:51 | 79.2回 | 8.2秒 | 185.1cm | 18.1m | 25.2kg |

ハンドボール投げを除く全ての種目で、全国平均を上回っている。投力を向上させるためのトレーニングや補強運動などを取り入れることはもちろんであるが、バランスよく全面的に体力を向上させる運動を実施していく必要がある。また、個々の運動能力に応じた課題別の準備運動をするなどして工夫を加えることで更に力を伸ばしていくであろう。(本単元では導入段階においてサーキットトレーニングを実施した。)

また、本校には十数校の小中学校から1つの中学校に入学してくるという実態がある。そのため生徒間の人間関係が希薄になりがちである。授業を通して、チーム活動など生徒同士のつながり

をより強いものにしていく実践が必要である。事前アンケートでは「チームで教え合ったり、協力したりしながらゲームや練習をすることが好きですか」という質問に対して「好き」と答えた生徒の割合は70%、「まあまあ好き」と答えた生徒の割合は30%であった(肯定率100%)。その理由としては、「みんなと協力することが楽しい」「自分もうまくなるし他の人も上手くなるから」「教え合ったり、協力したりすると仲も良くなる」などがあった。チーム活動を充実させていくことで、人間関係を豊かにするだけでなく、運動技能を高めることができる集団である。

(3) 指導観

指導にあたっては、集団的技能や個人的技能の高まりと関連を図りながら、ゲームの楽しみ方が発展していくよう学習を進めていくことが大切である。今もっている技能を使ってゲームを楽しむ意欲・関心を高めていくとともに、課題解決的な授業展開をすることで個人的・集団的技能の向上を図り、生徒一人ひとりが成功感や達成感を味わえるようにしたい。また、練習やゲームの過程において本校で推進するキャリア教育の視点を積極的に取り入れる。具体的には人間関係形成能力(自己の体力・能力の向上だけでなく、集団の一員として他者との関わりあいの中で共に伸びていこうとする能力)と課題解決能力(自己の能力に適した運動の課題の解決をめざして、仲間と共に活動の仕方を考えたり、工夫したりして運動を行うことによって運動の楽しさや喜びを味わうことができる力)を向上させていくことを目標としたい。チームや個に応じた指導の充実を図るためにチームティーチングを実施している。チームでの活動場面(チーム練習・話し合いなど)や、個々の生徒の技能に応じた課題別練習などの場面におけるチームティーチングの指導について実践しているところである。

6 単元目標

- (1) チームで協力して練習やゲームを行い、パス・キャッチ・ドリブル・シュートなどの技能を高めることができる。
- (2) チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して練習やゲームに取り組むことができる。
- (3) バスケットボールのルールを理解し、ルールを守って健康・安全に留意して活動ができるようにする。

7 単元の評価規準

| ア 運動への関心・意欲・態度 | イ 運動についての思考・判断 | ウ 運動の技能 | エ 運動についての知識・理解 |
|---|---|--|--|
| 説明された内容や方法を実行しようとする。 ルールを守り、仲間と協力して練習やゲームを行おうとする。 チームで協力し、教えあって練習やゲームを行おうとする。 ルールを守り、健康・安全に留意して活動しようとする。 | ゲームや練習の結果・内容から、チームの課題を把握し、解決するための活動を工夫している。 チームの課題を解決するための作戦を工夫している。 | ボールコントロールの技能とボディコントロールの技能を身につけてゲームや練習の中で活用できる。 | バスケットボールの特性や学習のねらいを理解している。 審判法やルール、運営方法などを理解している。 |

8 指導と評価の計画(全12時間)

| | 学習内容(時数) | 評価方法 | | | | | 評価方法 |
|-----|--|------|---|---|---|----------------------------|--------------------------|
| | | 関 | 思 | 技 | 知 | 評価規準 | |
| はじめ | 【ねらい1】 今もっている力でゲームを楽しむとともに、自分たちのチームのレベルを把握する。 | | | | | | 行動観察 学習ファイル チームノート |
| | オリエンテーション ・バスケットボールの特性 | | | | エ | バスケットボールの特性や学習のねらいを理解している。 | |

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 3 時 間 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方 ・チームノートの書き方 ・チーム決め ・スキルテスト ・ボールを使った運動など 試しのゲーム | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ア 説明された内容や方法を実行しようとする。 エ 審判法やルール,運営方法などを理解している。 ア ルールを守り,健康・安全に留意して活動しようとする。 | |
| な か 5 時 間 本 時 4 / 5 | <p>【ねらい2】 チームのレベル向上に必要な技能や動きを身につけ,ゲームに生かす</p> | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ウ ボールコントロールの技能とボディコントロールの技能を身につけゲームや練習の中で活用できる。 ア 説明された内容や方法を実行しようとする。 ア ルールを守り,仲間と協力して練習やゲームを行おうとする。 ア チームで協力し,教えあって練習やゲームを行おうとする。 | 行動観察 学習ファイル チームノート |
| ま と め 4 時 間 | <p>【ねらい3】 チームに応じた課題の解決に取り組み,チームで協力してリーグ戦を楽しむ。</p> | チーム練習 <ul style="list-style-type: none"> ・選択練習 ・練習内容を考える など | | | | <ul style="list-style-type: none"> イ ゲームや練習の結果・内容から,チームの課題を把握し,解決するための活動を工夫している。 イ チームの課題を解決するための作戦を工夫している。 ア ルールを守り,仲間と協力して練習やゲームを行おうとする。 ア チームで協力し,教えあって練習やゲームを行おうとする。 エ 審判法やルール,運営方法などを理解している。 | 行動観察 学習ファイル チームノート ふりかえり シート |

9 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・レイアップシュートの技能を身につけゲームや練習の中で活用できる。(ウ)
- ・練習やゲームの中で説明された内容や方法を実行しようとする。(ア)

(2) 観点別評価規準

- ・レイアップシュートの技能を身につけゲームや練習の中で活用できる。(B)
- ・練習やゲームの中で説明された内容や方法を実行しようとする。(B)

(3) キャリア教育との関連

【課題解決能力】

自己の能力に適した運動の課題の解決をめざして,仲間と共に活動の仕方を考えたり,工夫したりして運動を行うことによって運動の楽しさや喜びを味わうことができる

【人間関係形成能力】

各種の運動を通してルールやマナーを守り勝敗に対する公正な態度などを身につける。(単に運動の場面だけでなく,社会生活における望ましい態度や行動につながり,人間形成に役立つ。)

(4) 準備物

- ・バスケットボール(18個)
- ・ゼッケン(5色×6枚)
- ・得点板(6つ)
- ・学習ファイル(チーム・個人)
- ・ホワイトボード
- ・掲示物

(5) 学習の展開 (本時7/12)

| | 学習活動 | 指導上の留意点 | | 評価規準 【キャリア教育との関連】 | 評価方法 |
|---|---|--|--|--|--------------------------|
| | | T 1 | T 2 | | |
| 導入 10分 | 1 準備運動 トレーニング [バスケットボールの基礎技能のドリル] 三角パス サークルドリブルシュート パス ゴール下シュート ~ をチーム内でローテーションする。 それぞれ1分間ずつ行いチームでの回数を記録 | <ul style="list-style-type: none"> ・チームが全員そろってから活動させる。 ・ドリブル,パス,シュートの技能のポイントについて声をかける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・チームのリーダーを中心に元気よく活動させる。 ・意欲的に取り組めるように支援する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自己の課題に応じてトレーニングを意欲的に行っている。 【課題解決能力】 | 行動観察 チームノート 個人ファイル |
| | 2 集合・あいさつ・出席確認 健康観察 3 本時の目標を設定する | | | | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> レイアップシュートをゲームで試してみよう </div> | | | | | |
| | 前回できた 次の課題へできなかった 再度練習 目標： <u>みんながレイアップシュートを打つ。</u> | <ul style="list-style-type: none"> ・前時の活動を振り返り,本時の課題を提示し活動への意欲を高める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・この課題ができればどのようなゲームができるかをイメージさせる。 | | |
| | 4 レイアップシュートの課題別練習 課題A 正面や両サイドから・ディフェンスがいる状態からレイアップ 課題B 2歩のリズム・シュートするタイミング・自分に合った踏みきり位置を身につける | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの練習やゲームから課題を選択させる。 ・ゲーム場面を思い出させて,左45度や正面などからのレイアップシュートの練習課題を提示する。(課題) | <ul style="list-style-type: none"> ・レイアップシュートの基本的技能の定着を図る。(課題) | | 行動観察 チームノート |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【課題練習A】</p> <p>ドリブルから リングに直接 (利き腕) (正面) (反対側) からのレイアップシュートなど</p> </div> | | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【課題練習B】</p> <p>パスを受けて素早くシュート(近い場所) パスを受けてワンドリブル(やや近い) ドリブルからレイアップシュートなど</p> </div> | | |

| | | | | | |
|-------------------|--|---|--|---|--|
| | <p>5 ゲーム（3対2）</p> <p>【ルール】</p> <p>シュートはレイアップシュートのみ</p> <p>チーム（3名）が全員レイアップを打ったら2点</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの方法について説明する ・目標は全員がレイアップシュートを打つことを確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームが素早く行えるように支援する。 ・コートを周り適宜アドバイスをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・説明された内容や方法を実行しようとする。（ア） | |
| <p>展開 35分</p> | <p>6 全体ミーティング</p> <p>どういう場でレイアップシュートができるかを中心に振り返り、全体で交流する。</p> <p>シュートチャンスを逃さない ディフェンスを引きつける パス 広がりのある攻撃 など</p> <p>7 ゲーム（3対2）</p> <p>再度同じルールでゲームを行う。</p> <p>ただし、5のゲームで全員が目標を達成した場合シュート＝レイアップシュートのみ。得点は通常のルールに戻すなど工夫する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・全員がレイアップシュートを打つことができたかどうかを確認する。どうすればレイアップシュートができるのかを説明する。 ・ゴールの成否にこだわらず積極的にレイアップシュートを打つことを目標とさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・シュートチャンスを作る動きやボールコントロールが上手な生徒の役割について説明する。 ・いいタイミングでシュートができれば大いに評価する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・レイアップシュートの技能を身につけてゲームや練習の中で活用できる。（ウ） <p>【課題解決能力】</p> | |
| | <p>8 チームノートへの記入</p> <p>9 まとめ 健康観察 号令</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーを中心にチームノートに記入させながら、ねらいをふり返らせる。 ・発表させる。 ・ねらいに対する評価をする。 ・次時の連絡をする。 | <p>【人間関係形成能力】</p> | <p>行動観察 チームノート</p> | |
| <p>まとめ 5分</p> | | | | | |

